

令和2年2月28日

令和2年度愛知教育大学個別学力検査等(前期日程)における出題ミスについて

令和2年2月25日(火)に実施した個別学力検査等(前期日程)において、出題ミスが判明しましたので、お知らせします。概要は以下のとおりです。

受験者の皆さま、ご家族をはじめ関係者の皆さまに多大なるご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

この事態を重く受けとめ、厳しく反省することはもとより、改めて入試問題の作成から確認および採点作業を含めました入試体制の厳格な見直しを実施し、今後このようなことが生じないよう万全の対策を講じてまいります。

1. 入学試験実施日

令和2年2月25日(火)

2. 出題ミスがあった試験問題

(1)該当する課程・選修・専攻・コース

- ・初等教育教員養成課程理科選修
- ・中等教育教員養成課程理科専攻

(2)科目等

- ・理科(選択科目:生物) 受験者数 23名

(3)内容

大問Ⅰの問題及び設問の中で、現行の教科書に改訂される前の教科書で使用されていた同義語を用いていた。(問題は次頁参照)

(4)発見の状況

採点時において判明した。

(5)対応

問題に当該用語の定義が示されており、受験者全員の答案を確認した結果、解答に不整合は見られなかったことから、解答への影響がないものと判断し、得点調整等の措置は講じないこととした。

3. 防止対策

出題ミスによる社会への多大なる影響を重く受けとめ、学長のガバナンスの下で全教職員への意識改革をはかり、入試問題作成・点検体制を再度見直すとともに、組織としてのガバナンスのあり方を徹底検証し、今後このようなことがないよう万全の対策を講じてまいります。

【本件連絡先】

愛知教育大学入試課

電話 0566-26-2201・2205

正 光走性

生 物

I 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

緑藻類の一種であるクラミドモナスは、和名をコナミドリムシと言い、体長 $5\mu\text{m}$ ほどの単細胞性の真核生物である。同じ長さの2本の長い鞭毛をもち、日中は水中を回転しながら遊泳しているが、夜になると鞭毛を引っ込め、細胞分裂を行い増殖する。また、細胞内に葉緑体をもち、光合成によってエネルギーを得る独立栄養生物である。日中、クラミドモナスは光の方向を感知して泳ぐ「光走性」と呼ばれる性質を示す。細胞内には眼点^{注1}と呼ばれる構造があり、これはカロテノイド^{注2}

---中 略---

実験を行ったところ以下のような結果を得た。その結果を以下に示す。

フィルター a	良く「光走性」を示した。
フィルター b	良く「光走性」を示した。
フィルター c	弱い「光走性」を示した。
フィルター d	「光走性」を示さなかった。

- 問 1 クラミドモナスの他に「光走性」を示す微生物を一つ答えよ。
- 問 2 「光走性」以外の生物の走性を一つあげ、具体的な生物名と行動を説明せよ。
- 問 3 クラミドモナスが「光走性」と光驚動性の両方をもつ生物学的意義を説明せよ。
- 問 4 文中の実験とその結果に関して、クラミドモナスの光受容器が反応する光の波長の範囲について説明せよ。
- 問 5 クラミドモナスの眼点のカロテノイド層がない突然変異株は「光走性」を示さない、あるいはとても弱い反応を示すことが知られている。クラミドモナスがどのように光の方向を認識するのかについて説明せよ。

生 物

I 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

緑藻類の一種であるクラミドモナスは、和名をコナミドリムシと言い、体長 $5\mu\text{m}$ ほどの単細胞性の真核生物である。同じ長さの2本の長い鞭毛をもち、日中は水中を回転しながら遊泳しているが、夜になると鞭毛を引っ込め、細胞分裂を行い増殖する。また、細胞内に葉緑体をもち、光合成によってエネルギーを得る独立栄養生物である。日中、クラミドモナスは光の方向を感知して泳ぐ「走光性」と呼ばれる性質を示す。細胞内には眼点^{注1}と呼ばれる構造があり、これはカロテノイド^{注2}

---中 略---

実験を行ったところ以下のような結果を得た。その結果を以下に示す。

フィルター a	良く「走光性」を示した。
フィルター b	良く「走光性」を示した。
フィルター c	弱い「走光性」を示した。
フィルター d	「走光性」を示さなかった。

- 問 1 クラミドモナスの他に「走光性」を示す微生物を一つ答えよ。
- 問 2 「走光性」以外の生物の走性を一つあげ、具体的な生物名と行動を説明せよ。
- 問 3 クラミドモナスが「走光性」と光驚動性の両方をもつ生物学的意義を説明せよ。
- 問 4 文中の実験とその結果に関して、クラミドモナスの光受容器が反応する光の波長の範囲について説明せよ。
- 問 5 クラミドモナスの眼点のカロテノイド層がない突然変異株は「走光性」を示さない、あるいはとても弱い反応を示すことが知られている。クラミドモナスがどのように光の方向を認識するのかについて説明せよ。